

ワクチン審議の委員4人

製薬会社から寄付金

厚労省小委員会

予防ワクチンの効果
について議論する厚生
労働省の「ワクチン評
価に関する小委員会」

(委員長・岡部信彦
国立感染症研究所
情報センター長) 当
時)の複数の委員ら
が、評価対象のワクチ
ンを製造している製薬
会社から寄付金などを
受け取っていたことが
分かった。厚労省など
は「金額も公開してお
り、問題はない」とし
ているが、「利益相
反」を指摘する声があ
がっている。

委員である医師らが
同省に申告した資料に
よると、資金を受け取
っていたのは六委員の

うち四人。提供してい
たのは、子宮頸がんワ
クチンを製造するグラ
クソ・スミスクライン
とMSD (いずれも本
社・東京)、同じくイ
ンフルエンザ菌b型
(ヒブ)の武田薬品工
業(同大阪市)、小児
用肺炎球菌のファイザ
ー(同東京)など。

①五十万円以下②五十
万円超～五百万円以下
③五百万円超のいづ
れかにチェックを入れ
る方式。大半が五十万
円以下だったが、MS
Dから岩本愛吉・東大
医学部教授、武田薬
品から宮崎千明・福岡
市立西部療育センター
長が「五十万円超～五
百万円以下」の資金を
受領したとしている。

小委員会は二〇一〇
年八月～一二年三月に
開かれ、この三ワクチ
ンを含む九ワクチンに
ついて議論した。いず
れも「接種促進が望ま
しい」という結論に至
り、同省予防接種部会
に報告された。三ワク
チンは今月から、予防
接種法に基づいて国が
接種を勧奨し、全額公
費負担となる定期接種
扱いになっている。

厚生労働省小委員会の委員への主な資金提供

医師	製薬会社	製造しているワクチン	金額
池田俊也 国際医療福祉大教授	ファイザー	小児用肺炎球菌	50万円以下
	武田薬品工業	インフルエンザ菌b型	50万円以下
岩本愛吉 東京大医学研究所 教授	MSD	子宮頸がん	50万円超～ 500万円以下
	グラクソ・スミスクライン	子宮頸がん	50万円以下
岡部信彦 国立感染症研究所 感染症情報 センター長	武田薬品工業	インフルエンザ菌b型	50万円以下
	ファイザー	小児用肺炎球菌	50万円以下
	グラクソ・スミスクライン	子宮頸がん	50万円以下
宮崎千明 福岡市立西部療育 センター長	MSD	子宮頸がん	50万円以下
	武田薬品工業	インフルエンザ菌b型	50万円超～ 500万円以下

※厚労省の公表資料などを基に作成。肩書は当時